

川根本町商工会
経営発達支援計画（平成30年度）事業評価検討会 講評結果

実施日時 平成31年4月8日（月）
15:00～16:30
実施会場 川根本町商工会本所

【中小企業診断士 北川裕章氏 講評】

本事業採択時の目標設定とその後の環境変化により、一部には達成率で50%以下の項目も見られた。しかし、全般的に概ね目標を達成できたか、それに近い達成率である点は高く評価できる。

本商工会は、全国展開支援事業にも取り組んでいるため業務量が多くなる傾向が見られる。全職員で取り組むことで経営指導員の負担軽減を図ることや、経営発達支援事業との整合性を取りつつ、各事業が同時に推進できるような工夫も必要になる。

また、各項目を単独で実施するのではなく、経済動向調査から経営状況の分析、事業計画策定支援、事業計画策定後の実施支援といった一連の繋がりを意識して実施すべきである。

項目別にみると、1. 地域の経済動向調査では景況アンケート調査のみ目標に未達だったがそれ以外は目標を達成した。このように収集、分析した情報をいかにして会員事業者にフィードバックするかも重要になる。2. 経営状況の分析については、セミナー開催回数については目標を下回ったが訪問件数、経営分析件数は目標を上回った。セミナーのテーマ設定については、会員事業者のニーズを汲み取ることと単独ではなく他の支援機関との連携も検討すべきである。3. 事業計画策定支援と 4. 事業計画策定後の実施支援については、持続化補助金の採択件数や経営革新計画の承認件数、及びそのフォロ一件数をカウントしているが、実際の支援件数を実績とすべきである。

【島田信用金庫川根支店 小野田聰氏 講評】

川根本町商工会は平成28年4月に経営発達支援計画が承認され3年目が終了した。計画には地域の経済動向に関する調査や経営状況の分析、事業計画の策定支援など多岐に渡り支援項目があるが、3年目は殆どの項目で実施件数が増加し、支援内容も充実してきている。結果として経営革新計画の承認、創業支援、事業承継補助金や持続化補助金等の採択実績の増加につながったものと思われる。

限られた職員数で年間を通して行われる様々なイベントの準備、毎月の巡回指導、申告

書の代行業務などの基本業務と平行した中での実績であり、その点においても十分に評価出来るものである。

川根本町のみならず、地方都市は軒並み人口減少による事業承継の問題を抱えており、M&A支援や創業支援は重要な取組みとなっている、一昨年は創業者支援も専門家による相談会を一度開催しただけでフォローが無かったが、今期は相談会に引き続いてモニタリングや情報提供・情報交換の場として食事会を開催するなど町と連携した継続的な支援が行われており、この点は特に評価出来るものである。

作成してから二年目を迎えた「カワネパスポート」はアプリを使った全国的に見ても斬新で魅力ある商品であるが、利用する店舗に偏りが見受けられ利用実績も期待した実績には届いていないように思われる。

NEXCO中日本との連携などの施策も認められるが、上手く周知されていない感があり更なる利用促進につながる施策に期待したい。

【川根本町役場観光商工課 講評】

○各事業とも目標に近い実績であり、一定の評価はできると思います。しかし、検討会の中でも話がありましたが、巡回の件数を増やすだけでなく、その内容が重視と考えますので、商工会、金融機関、行政との連携強化のためにも情報提供をお願いしたい。

○町内各団体の認識を共有し、協同による効率的な中小企業・小規模企業の振興を図る目的で平成30年度に「川根本町中小企業・小規模企業振興基本条例」を制定した。

次期計画には、条例の基本方針に沿って事業の展開を図っていただければと思います。

○昨年度もお願いしましたが、販路開拓事業に「南アルプスユネスコエコパーク」のロゴマークを利用していただき、推進を図っていただきたい。